

株式会社 乾光精機製作所

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)

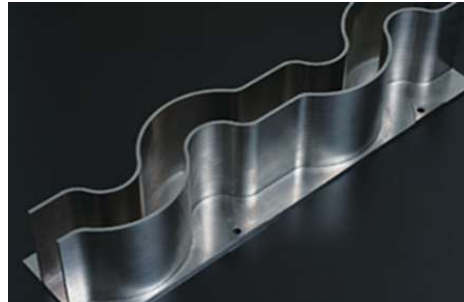
製品集合



社員



本社全景



作成日: 2025年3月28日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12



切削の妙、一体化部品製造

プレスあるいは鋳型成型が一般的な部品も切削加工で、高精度化。



0.005mmの駆動空間を実現

ピストン運動をする組合せ部品。切削技術により、精度を飛躍的に向上。



長尺切削2000mmの加工能力

最大2000mmの長尺システム切削が可能。汎用機との組合せで、あらゆるサイズに対応。

環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは自然豊かな信州の地で業務を行う精密加工部品加工メーカーです、本業である精密切削の生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2．創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3．廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、食品リサイクル率の向上に努めます。
- 4．適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5．化学物質の適正管理に努めます。
- 6．安心して安全な商品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
- 7．その他に代表者が経営上取り組みたい活動を記載する。
- 8．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2018年10月1日

代表取締役社長 滝澤 佳人

□組織の概要

更新日：2022年12月28日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 乾光精機製作所
代表取締役社長 滝澤 佳人

(2) 所在地

本社・工場 長野県下伊那郡高森町山吹8685-1
喫茶・ゴルフ練習場 長野県下伊那郡高森町山吹8685-2
給油所 長野県下伊那郡高森町山吹8709-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 伊藤 公雄 TEL：0265-35-5345
担当者 製造部主任 松下 啓介

(4) 事業内容

半導体製造装置部品加工・チャンバー内パーツの加工・エッチング装置パーツの加工、
ゴルフ関連部品販売・喫茶、建設事務所・設計・施工管理、燃料油販売・自動車部品販売

(5) 事業の規模

売上高 322,190 万円 (2023年度)

		本社・工場
従業員	名	182 名
延べ床面積	m ²	22,935 m ²

(6) 事業年度 10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 乾光精機製作所
対象事業所：本社・工場 喫茶・ゴルフ練習場 給油所

活動：半導体製造装置部品加工・チャンバー内パーツの加工・エッチング装置パーツの加工、
ゴルフ関連部品販売・喫茶、建設事務所・設計・施工管理、燃料油販売・自動車部品販売

□事業や製品(商品)の紹介

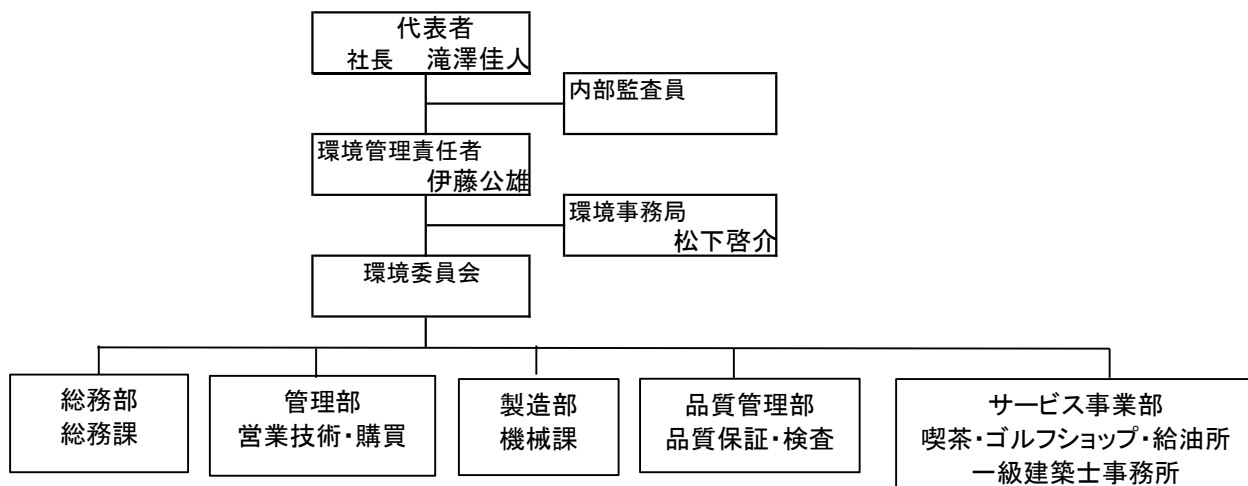
量産化の実現にも、乾光精機のノウハウ。



多軸三次元切削機の導入と独創的な加工手順により、量産化へのオーダーにも応えています。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年12月28日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	3,088,086	286,774	3,104,139
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	3610	8,427	12,829
産業廃棄物排出量	kg	46779	66,337	40,613
総排水量	m ³	3561	4,181	5,044

※二酸化炭素排出係数 0.431 kg-CO₂/kWh 中部電力2017年度調整後排出係数

□環境経営目標及びその実績

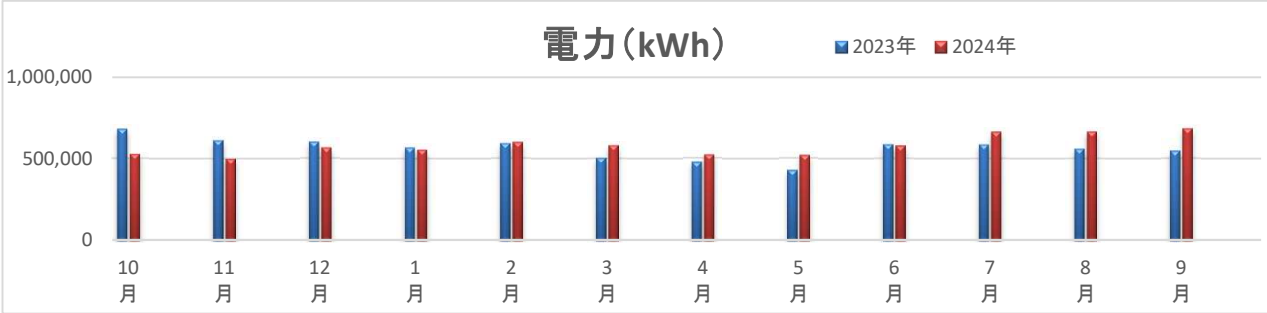
項 目	年 度	基準値 (基準年)	2024年		評価	2025年	2026年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,891,126	2,862,215	3,000,194	×	2,833,304	2,804,393
	基準年度比	2023年	99%	104%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	15,413	15,259	10,010	○	15,105	14,951
	基準年度比	2023年	99%	65%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,995	4,945	5,214	×	4,895	4,845
	基準年度比	2023年	99%	104%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	100,644	99,638	88,721	○	98,631	97,625
	基準年度比	2023年	99%	88.2%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	3,012,179	2,982,057	3,104,139		3,122,622	3,090,430
一般廃棄物の削減	kg	11,255	11,142	12,829	×	11,030	10,917
	基準年度比	2023年	99%	114%		98%	97%
産業廃棄物の削減（廃プラ）	kg	56,285	55,722	43,688	○	55,159	54,596
	基準年度比	2023年	99%	78%		98%	97%
食品廃棄物の再資源化	%	0%	100%	100%	○	100%	100%
水道水の削減	m ³	3,712	3,675	5,044	×	3,638	3,601
	基準年度比	2023年	99%	136%		98%	97%
化学物質管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	% (金額率)	—	100%	100%	○	100%	100%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

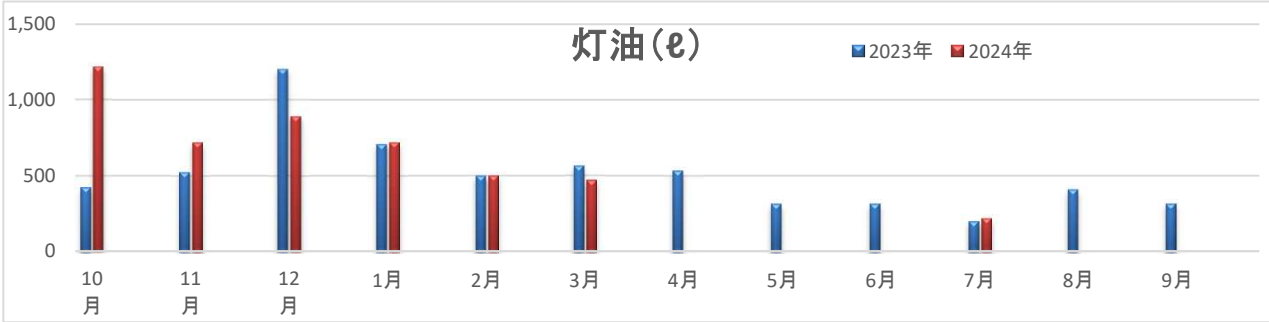
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	【結果・評価】 累計で増加している。 【次年度の取組】 増加原因を把握する。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)		○	
・不要照明の消灯		△	
・ノー残業デーの実施		○	
・生産工程の待機時間短縮		○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検		○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	679,504	612,644	600,479	569,763	592,463	504,111	477,259	427,852	586,270	586,270	560,485	546,936
2024年	527,138	498,986	565,173	555,949	598,652	581,593	522,297	518,968	577,907	663,878	666,593	683,872

灯油による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	【結果・評価】 ・目標を達成した。 【次年度の取組】 ・次年度も今年度の活動を継続する。
・空調の適正管理		○	



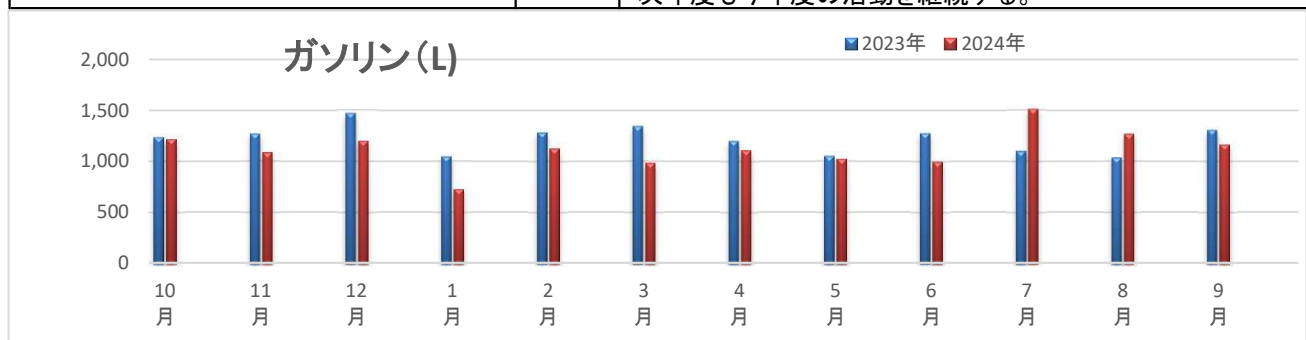
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	425	525	1,200	710	500	565	535	310	310	200	410	310
2024年	1,216	720	890	720	500	470	0	0	0	220	0	0

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【結果・評価】
・工場内手洗いの給湯用	○	・使用量が増加している。
・節水の注意喚起	○	【次年度の取組】
		・増加の原因の把握する。

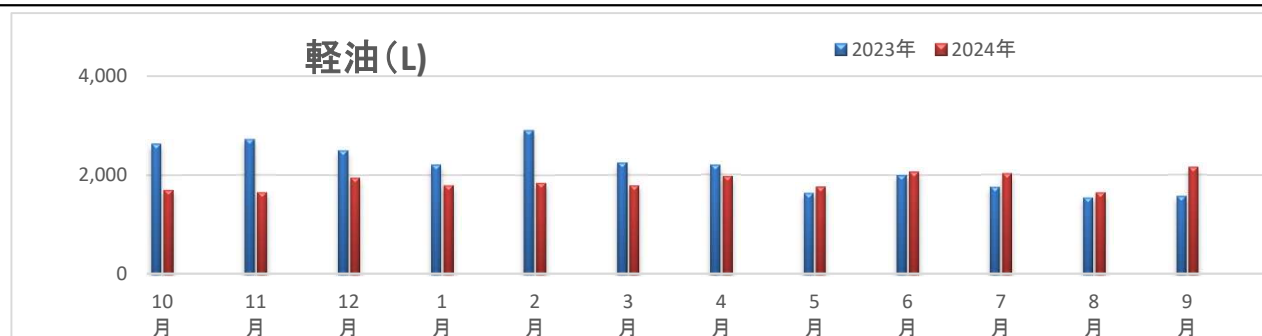


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基準年度実績	1,234	1,267	1,468	1,045	1,284	1,340	1,202	1,277	1,277	1,102	1,033	1,305
年	1,271	707	1,075	1,595	2,127	2,599	3,107	4,010	4,010	4,333	4,633	4,945

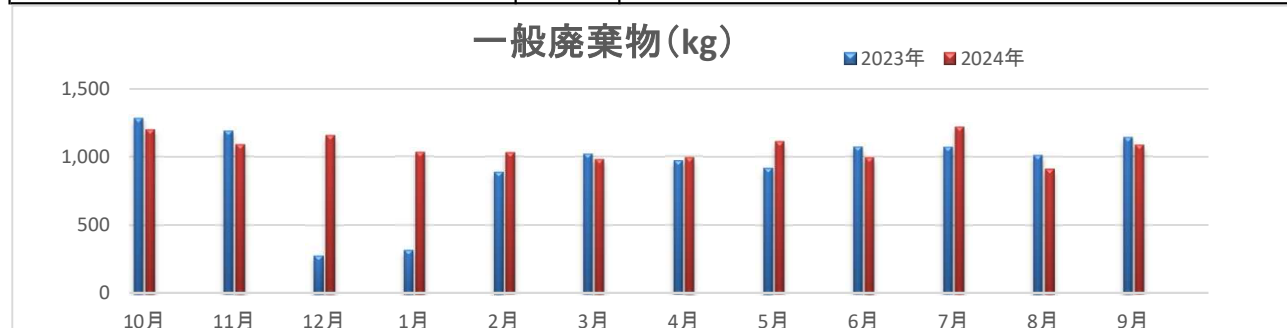
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【結果・評価】
・アイドリングストップ	○	・目標を達成した。
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	【次年度の取組】
		・次年度も今年度の活動を継続する。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	1,234	1,267	1,468	1,045	1,284	1,340	1,202	1,048	1,277	1,102	1,033	1,305
2024年	1,216	1,085	1,198	726	1,127	984	1,109	1,020	996	1,510	1,264	1,162



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	2,631	2,710	2,497	2,206	2,902	2,246	2,190	1,637	1,997	1,752	1,542	1,569
2024年	1,703	1,650	1,948	1,795	1,847	1,790	1,966	1,764	2,062	2,021	1,646	2,150
一般廃棄物の削減					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標					×	【結果・評価】						
・分別の徹底					○	・目標を未達。						
・シュレッダー廃紙のリサイクル化					○	【次年度の取組】						
・帳票見直しによる印刷物の削減					○	・一般廃棄物の分別を徹底する。						
・梱包材の再利用					○							



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	1,284	1,190	280	320	891	1,022	973	923	1,075	1,075	1,014	1,142
2024年	1,201	1,090	1,162	1,034	1,032	984	994	1,115	995	1,222	914	1,088

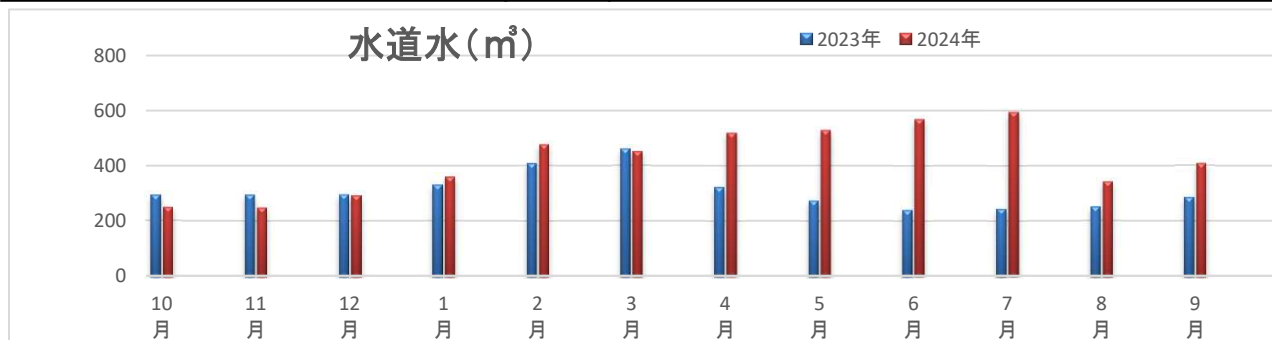
産業廃棄物の削減(廃プラ)					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標					○	【結果・評価】						
・作業ミスによる廃棄量の削減					○	・廃プラの分別ができている。						
・素材別ボックスの設置					○	【次年度の取組】						
・リサイクル業者の開拓					○	・次年度も今年度の活動を継続する。						



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	6,283	6,996	7,210	4,831	3,400	3,645	3,270	6,709	3,106	3,106	4,130	3,514
2024年	1,522	6,300	4,783	4,326	2,910	1,400	3,530	3,705	3,796	4,370	2,100	4,946

食品廃棄物の再資源化率の向上					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標					○	【結果・評価】						
・原料の賞味期限切れロスの防止					○	・目標を達成した。						
・加工ロスの削減					○	【次年度の取組】						
・廃棄物 9 8 9 kg 全て再生するきとができた					○	・次年度も今年度の活動を継続する。						

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【結果・評価】
・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	・ 使用量が増加している。
		【次年度の取組】
		・ 増加の原因の把握する。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	293	296	297	330	410	462	324	275	241	245	252	287
2024年	249	249	293	359	478	452	520	529	569	595	342	409

化学物質管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【結果・評価】
・ 有害性物質の表示の徹底	○	・ 適性管理ができている。
・ 容器の蓋の徹底	○	【次年度の取組】
・ 作業ミスによる使用量増加の抑制	○	・ 今年度の活動を継続する。
・ 代替物質の検討	○	
グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【結果・評価】
・ 事務用品グリーン購入比率向上	○	・ 管理できている。
		【次年度の取組】
		・ 今年度の活動を継続する。
環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ クレームの再発防止実施	○	【結果・評価】
・ 工程監査の実施	○	・ 平均では目標を達成した。
		【次年度の取組】・ 今年度の活動を継続する。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
食品リサイクル法	食品廃棄物	○
水質汚濁法	地下タンク	○
浄化槽法	浄化槽	○
消防法（危険物）	危険物の保管	○
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫	○
顧客要求事項	品質管理	○

※ 環境関連法規等の遵守に関して過去3年間違反はありません。また、関連当局からの指摘等也没有ありません。

□外部からの環境上の苦情・要請等
 2023年10月～2024年9月まで環境上の苦情・要請等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生

■実施日： 2024年9月26日（木）15:15～
 ■実施場所 工場内

■参加者： 176名

■実施内容：
 ☐ 通報訓練
 ☐ 消火訓練
 ☒ 避難訓練

■評価： 良
 手順書の変更の必要性
 ☐ あり
 ☒ なし

■実施状況の様子

●対象は第1工場・第2工場・第3工場・第5工場・第6工場・第7工場・高森ゴルフガーデン・乾光精機給油所
 実施内容
 避難訓練
 本部の設置
 放送
 避難
 本部前に集合
 点呼

 隊長講評

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月3日

【取組結果】

①二酸化炭素排出量が増加傾向にあり、削減が課題である。

＜情 報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） ①加工機の増設でエネルギー使用量が増加している。適正な管理を行いたい。 ②取引先からもさらに環境管理が求められている。今後も、企業の社会的責任を自覚し活動を継続していく。		◇環境経営方針 変更なし
◇環境経営目標・計画の達成状況 ①二酸化炭素排出量が増加した。加工機の増設が考えられる。次年度から新工場が稼働するので変化を見極めたい。		◇環境経営目標・環境経営計画 新工場の稼働で再検討必要
◇環境コミュニケーション ・利害関係者からの苦情・要請等環境上の問題点等なし		◇実施体制他 変更なし

環境経営方針
 環境経営目標・計画
 実施体制

☒ 変更なし
 ☒ 変更なし
 ☒ 変更なし

☐ 変更あり
 ☐ 変更あり
 ☐ 変更あり